

2024 年度 学校関係者評価会議 議事録

日時：2025 年 5 月 16 日 14：10～15：00

場所：錦秀会看護専門学校（一部オンラインによる参加）

出席者 1：（学校関係者評価委員）

中本 光信（地域住民、元公立中学校校長）
星名 照美（卒業生）
原田 遥（卒業生）
西口 綾乃（卒業生）
笹倉 清美（医療法人錦秀会 本部医務局看護部 部長）

欠席者：

檜林 剛（錦秀会グループ総本部 管理局 副局長）
太田 富美子（医療法人錦秀会 本部医務局看護部 部長補佐）

出席者 2：錦秀会看護専門学校

多田 直美（副学校長）
山田 直子（顧問）
田中 奈絵子（准看護学科学科長）
北浦 由起子（看護学科学科長）
奥田 ゆうこ（事務長）

司会：奥田 ゆうこ（事務長）

議題：2024 年度 自己点検・自己評価に対する学校関係者評価
配布資料（事前配布）

- ・2024 年度自己点検・自己評価報告書
- ・2024 年度自己点検・自己評価及び学校関係者評価会議資料
- ・2024 年度 自己点検・自己評価 評価結果
- ・学生アンケート
- ・学生生活アンケート

評価項目の内容を一通り説明。外部出席者の方を優先し、コメントをいただく。

○意見 I

1. 「教育理念・目的・目標」について

→素晴らしい理念を掲げている、毎年見直していく必要はないように思われる。

2.「学生の受け入れ」について

→いずれの学校でも定員割れが発生しているようである。そのような中で、専門学校としての魅力をアピールしていく必要があるのではないか。学生の確保が厳しくなっている一方で、病院の現場では看護師の質の確保も難しくなっている。

3.「学生生活への支援」について

→病院奨学金パンフレットなど、奨学金制度について学生が学びを継続できるよう積極的に支援されている。

4.「教育課程」について

→新カリキュラムでは、河内長野市南花台という地域で看護を学ぶ特色を取り入れられ、地域とのつながりを大切にされていることが伺える。

5.「教育活動・教育指導のあり方」について

→3.学生生活への支援と比較すると、4.教育課程、5.教育活動・教育指導のあり方が低くなっている。

6.「実習指導体制」について

→学生アンケートの意見から、自宅での学習時間の確保について意見が上がっていた。
5.教育活動・教育指導のあり方にも関係する内容と思われる。十分に配慮していただきたい。

7.「研究・研修活動」について

→本年度から取り組まれている伝達講習会で情報共有に努めるとともに、個別の専門領域の研究活動にも積極的に取り組んでいただきたい。

8.「組織管理・運営」について

→教員の確保には苦勞されているようであるが、業務内容を把握し可視化することで、業務効率化や生産性向上につなげていただきたい。

9.「施設設備」について

→高速回線の配備や、ネットワーク印刷に対応した印刷機設置、自己学習スペースのストープ設置など、充実した環境の提供に努めておられた。

10.「社会への貢献」について

→コノミヤテラスでの地域看護学実習について、学生は高齢者の良い話し相手になってくれている。今年度からは、その隣のふれあいテラスでも小さな子どもによく接してくれている。

11.「予算」について

→物価高騰が続いているが、職員から提案を募ることも含め、経費削減のために取り組んでいただきたい。

12.「学校評価」について

→学生生活アンケートの結果について、厳しい意見もきちんと開示しておられる。

○意見

- ・先生方は日々大変な状況であると思われるが、アンケートの意見に対する真摯な対応の積み重ねが学生の満足となり、学生確保につながるはずあるので、決して放置することの無いように努めていただきたい。

多田副学校長より

- ・昨年この会議でいただいたご意見から、ふれあいテラスでの地域交流が実現した。皆様から意見を頂くことはとても重要である。学生にとってより学びやすい環境となるよう次年度に反映していきたい。貴重なご意見を多くいただいたことに感謝申し上げます。と述べられた。